

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	生駒市家庭教育支援チーム (呼称:「たけのこ」) URL: https://www.city.ikoma.lg.jp/0000020709.html
②活動拠点	市内生涯学習施設及び市内小中学校・幼稚園等
③活動範囲	生駒市内全域
④組織体制	18人 ・統括コーディネーターは1人。 ・元教員や民生・児童委員、青少年指導委員、元PTA役員、子育て支援や地域ボランティアとして活動するメンバーで構成。
⑤活動開始年度	平成30年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 生駒市教育委員会事務局 生涯学習課 (TEL)0743-74-1111(内線 3730) (E-mail)l-learning@city.ikoma.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(ホームページでの子育て支援に関する情報提供)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>○親子向け交流イベントの開催 市内の小学校や幼稚園、生涯学習施設において、市内の子どもや保護者同士が楽しく学びながらつながり合うことができる交流イベントを開催している。</p> <p>開催にあたっては、親向けの内容だけでなく、子どもたちの体験ブースを設けるなど、できるだけ多くの親子が参加できるよう工夫している。</p> <p>(実施してきた内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの講演会 子どもとの関わり方や叱り方など、子育てや家庭教育に関する保護者の関心の高いテーマについて、専門家等の講演を聴く機会を設ける。 ・保護者同士が子育ての悩みを語り合える場の創出 イベントに参加した保護者がグループになり、チームメンバーによるファシリテートのもと日頃の子育ての悩みを語り合い、保護者同士が交流できる場づくりを行う。 ・子ども向けクラフト教室 身近にある安価な材料を使って簡単にできる工作(クリスマスツリー、リース、プラバン、スライムなど)をチームメンバーが教えながら子どもたちと一緒に遊ぶ。 ・親子で身体を動かすダンスワークショップ 地域でキッズダンスを教えるチームメンバーの指導のもと、ダンスやパラバルーンなどで親子が一緒になって身体を動かすことの楽しさを味わってもらおう。 <p>○チーム内研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが、保護者や子どもとの接し方を学んだり、県が主催する家庭教育支援研修に参加したりして、子育て支援についてのスキルアップを図っている。 <p>○定例会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度の定例会議において、取り組みの方向性や具体的な事業内容、事業の進め方等について話し合いや協議を行っている。 <p>○生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」の広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのほか、リーフレットの市内学校園への配布や公共施設での配架により、活動内容やイベント情報の周知を行っている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催を通して、「たけのこ」の存在や活動を広く市民に知ってもらいきっかけとなった。 ・親子で参加できる交流イベントでは、親と子がそれぞれに異なるプログラムに参加する時間を持つことで、親は学びに集中してもらうことができた。子どもたちはチームメンバーと工作を楽しみながら交流を図ることができた。 ・親同士が子育ての悩みを語り合い共有することで、不安感の軽減や意欲

	<p>の向上といった気持ちの変化とともに、今後、親同士がつながるきっかけを作ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが傾聴研修を受講することにより、保護者との対話や思いを引き出すスキルを学ぶなど、今後の活動に活かせる知識を得た。 ・イベント企画のプロセスの中で、メンバー間で家庭教育支援とは何かをあらためて考える機会になった。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>